

第1期（2018年度～2020年度）活動計画

本研究会は3年間の活動計画を立てて活動します。3年ごとに計画を見直して、当面3期9年継続することを目標とします。

1. 「現地セミナー」を開催し、記録を出版します。

毎年1回、合宿形式の現地セミナーを開催し、その記録を出版します。毎年1冊、3年で3冊を出版します。

2. 潟さべり、研究会、現場調査、出前講座などの活動を実施します。

会員の要望に応じて多彩な活動を実施します。内容は会員からの提案があれば、それをもとに計画します。

3. 出前講座「八郎潟・八郎湖学」を開催します。

公民館、学校や企業などで八郎潟・八郎湖について学ぶ出前講座を開催してもらえるように、講師とテーマを企画し、開催を働きかけます。

4. 八郎潟・八郎湖に関する書籍、小冊子や映像資料などを製作・出版します。

八郎潟・八郎湖に関する研究成果を社会に発信するため、大人や子どもが手軽に読める本を製作・出版します。第1期は次の本を出版する計画ですが、他にもよい提案があ

れば検討します（タイトルはすべて仮題）。

谷口吉光「八郎湖の再生を考える」

天野荘平「八郎潟の漁撈用具と漁師たち」

杉山秀樹「八郎潟の魚 昔と今」

高橋秀晴「近代文学の舞台としての八郎潟」

八柳知徳・鎌田洋平「入門 八郎潟って何だ？」など

5. 秋田県立大学に「八郎潟・八郎湖アーカイブ」を開設します。

八郎潟・八郎湖に関わる書籍・資料などを一堂に集めた「八郎潟・八郎湖アーカイブ」を、秋田県立大学の図書・情報センターに開設します。希望される方には館内閲覧と貸し出しができます^(注)。2018年5月頃に第1期分をオープンします。

注：館内閲覧を希望される方は、カウンターに立ち寄り、氏名・住所をご記入ください。貸し出しを希望される方は、身分証明書をご持参の上、カウンターにお越しください。ただし、貸し出しできるのは高校生または18歳以上の方が対象となります。

その他詳細は秋田県立大学図書・情報センターの利用規則によります。

6. 新たな共同研究を立ち上げます。

人文学や社会科学の研究を中心に、文理融合・地域連携型研究を、できるものから立ち上げます。

【研究テーマの例】

- ・ 八郎潟・八郎湖の魚類資源・漁業・魚食文化の一体的再生
- ・ 住民参加型の八郎湖流域保全（ガバナンス）
- ・ 八郎湖の環境学習
- ・ 子どもたちが八郎湖に親しむ空間・機会の創出（植生再生地点の維持と活用）
- ・ 順応的流域管理による水質改善・生態系再生・地域再生の可能性（海水導入を含む）
- ・ ヨシなど未利用資源の利用の復活
- ・ 八郎太郎伝説
- ・ 八郎潟・八郎湖の資源を活かした新たな旅行業の可能性（インバウンド、教育旅行、エコツーリズムなどを含む） など

7. 八郎湖流域だけでなく全国的・世界的に情報を発信します

会員向けの通信、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワークサービス）、マスメディアなどを活用して、八郎潟・八郎湖学の情報を流域、全国、世界に発信します。

8. 多くの方々からご支援をいただき、研究会の活動に必要な収入を確保します（会費、

寄付金、自主事業、助成金・補助金やクラウドファンディングなど）。